

**地域や社会の教育力を活用して  
ともに育てよう  
健やかな子どもたち**



平成18年3月  
東京都教育庁生涯学習スポーツ部

## 目 次

はじめに	2
ここが聞きたいQ & A	3
<実践事例>	
○外部の専門的知識を生かした安全教育の学習 (新宿区立四谷第六小学校、クライシスインテリジェンス)	5
○地域の力を生かした家庭教育支援 (足立区立鹿浜小学校・千寿桜小学校の家庭教育部会)	7
○独自のシステムで対応する不登校対策 (渋谷ファンイン ピアサポート委員会)	9
○NPOの教育プログラムを導入したキャリア教育の学習 (小平市立小平第二中学校、キーパーソン21)	11
○地域連携についてのインタビュー (小平市地域連携アドバイザーに聞く)	13
○コーディネーター座談会 (世田谷区、杉並区の学校教育コーディネーターに聞く)	15
<東京都の取組>	21
○地域教育プラットフォーム	
○地域教育推進ネットワーク 東京都協議会	
<関係団体の紹介>	27



## はじめに

総合的な学習の時間が始まり、子どもたちのニーズに対応するために、より専門的な知識をもつゲストティーチャーが学校の授業に入ってくるが多くなりました。学校から出て、地域の商店街や地域の方々と交流する学習活動も増えてきました。個に応じた指導を図るために、教科の時間にも学習支援ボランティアが入る授業も増えてきました。このような活動は今後もさらに増えてくるでしょう。

また地域の方々が学校の教育活動へ今まで以上に協力し、子どもたちの安全に配慮したり、土曜日の居場所事業にかかわったりしているなど、学校と連携し、課題解決を図ろうとしている学校も増えてきています。

しかし、学校の課題は多岐にわたり、今まで以上に地域や社会の教育力を学校教育の支援のために導入していかなくてはなりません。実際にどのように連携していけばよいのでしょうか。また授業にゲストティーチャーやボランティアの方をただ入れさえすれば、教育効果は上がるのでしょうか。より効果的な活用方法があるのではないのでしょうか。

本書では、都内各地で行われている地域や社会の教育力を効果的に導入し、成果をあげている先進的な実践例を紹介します。地域や企業、NPO等と連携して子どもたちの育成を目指す学校や先生方のヒントになればと考えて作成しました。また同時に東京都教育委員会の施策を紹介し、地域・社会との連携活動の一助になればと考えております。

是非、御一読いただき、貴校の教育活動に生かしていただければと考えます。

